

Combi

コンビ ニンナナンナ はじめてホールド ミルク&スリープ F-60

Bed-Type Carrier for Feeding & Sleeping

取扱説明書

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、
正しくお使いください。

また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管して
ください。

本品を他の方にお譲りになるときには、必ず本書もあ
わせてお渡しください。



もくじ

お使いいただく前に

ご使用の前に	1
安全にお使いいただくために	1
各部のなまえ	4

だっこするには

準備	5
外出時	6
（生後すぐから～7.0kgまで）	
授乳・寝かしつけ時	9
（生後すぐから～9.0kgまで）	

お手入れ

お手入れ	裏表紙
------	-----

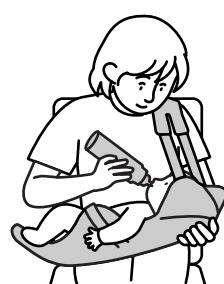
外出時



授乳(母乳)時



授乳(ミルク)時



ご使用の前に

このたびはニンナナンナ はじめてホールド ミルク & スリープをお買い上げいただき、ありがとうございます。

この製品は、お子さまを「だっこ」して、外気浴、買い物のときなどの外出時や、室内での授乳・寝かしつけなどに使用するための1人用子守帯です。ご使用の前に、4ページの「各部のなまえ」をご確認ください。

使用できるお子さまの月齢について

(お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります)

使いかたのスタイル ヨコだっこ	参考月齢 首がすわる	体重	
		0ヵ月 ↓	6ヵ月 ↓
外出時	生後すぐから～ 首がすわるまで(4ヵ月頃まで)		7.0kgまで
授乳・寝かしつけ時・ あやす時	生後すぐから～(6ヵ月頃まで)		9.0kgまで

寝返りができるお子さまをヨコだっこしてお出かけすると、落下するおそれがありますのでおやめください。冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。お子さまの体格を考慮し、無理のない服装でご使用ください。

使用できるお子さまの身長は約70cmまでを目安にしてください。

安全にお使いいただくために

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告
誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

⚠ 注意
誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

□ 梱(2～3ページ)の中に具体的な注意内容が書かれています。

⚠ 記号は警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。

⚠ 警告

お子さまの乗せおろしは、
子守帯を必ず安全な場所に
置いて行ってください。

不安定な場所などでは、お
子さまが落下するおそれが
あります。



使用中に走ったり、飛び跳
ねたり 45°以上前の前かがみ
や横曲げなどの無理な姿勢
はしないでください。
お子さまが落下するおそれ
があります。



「ホールドベルト」を確実に
とめてください。

とめないで使用すると、お
子さまが落下するおそれが
あります。

ホールド
ベルト



だっこするときは、必ず手
で支えてください。

お子さまの予期せぬ動きに
対応できず、落下するおそれ
があります。



次のようなお子さまには使用し
ないでください。

ヘッドガードから頭部が出る
お子さま

<外出時>

体重7.0kg以上のお子さま
寝返りができるお子さま

<授乳時、あやす時>

体重9.0kg以上のお子さま
お子さまの身体に思わぬ負担
をかけたり、傷害を負うおそれ
があります。



だっこするときは、お子さ
まの頭部を足よりも高い位
置にし、必ず後頭部を手で
支えてください。

不安定な状態でだっこする
と、お子さまの身体に思わ
ぬ負担をかけたり、傷害を
負うおそれがあります。



ベルトの先端の返し縫い部
分をほどいたり、製品を改
造しないでください。

故障や重大な事故につなが
るおそれがあります。



お子さまが股の分かれてい
ない服(ドレスなど)を着て
いるときは、片方の足ぐり
から両足が出ないようにし
て使用してください。

お子さまが落下するおそれ
があります。



安全にお使いいただくために(つづき)

⚠ 注意

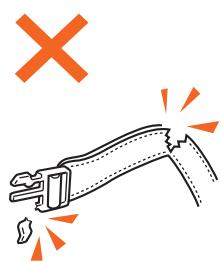
お使いいただく前に

安全にお使いいただくために

授乳後約30分以内にお子さまに大きなゆれを与えた
り、連続2時間以上の使用は
しないでください。
お子さまや使用者に思わぬ
負担をかけるおそれがあります。
また、使用者が痛みや不快
を感じたときは、使用を中
止してください。



製品のほつれ、傷、やぶれ
を見つけたとき、またバックルなどの部品が破損した
ときには、すぐに使用を中
止してください。
そのまま使用すると、事故
につながるおそれがあります。



製品を火の近くや屋外に放
置しないでください。
熱や雨水などでバックルや
生地などが変質し、事故に
つながるおそれがあります。



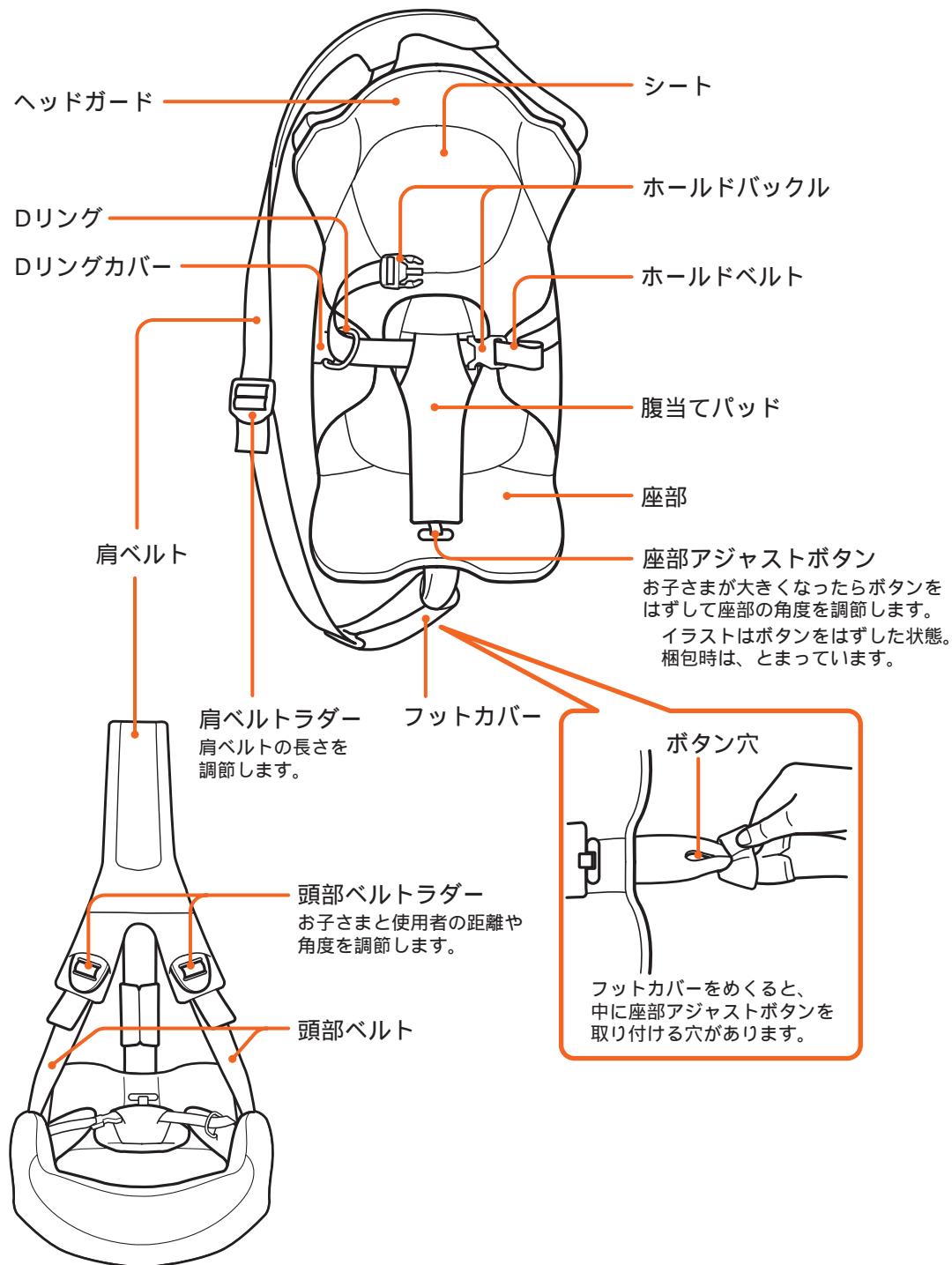
お子さまをだっこする以外
の目的では、使用しないで
ください。破損・故障の原
因になります。



各部のなまえ

お使いいただく前に

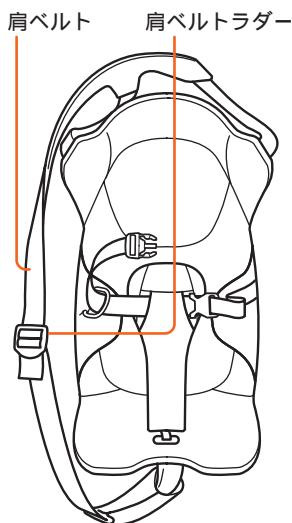
各部のなまえ



準備

お使いいただく前に

準備



ベルトの調節は、必ず安全な場所で行ってください。

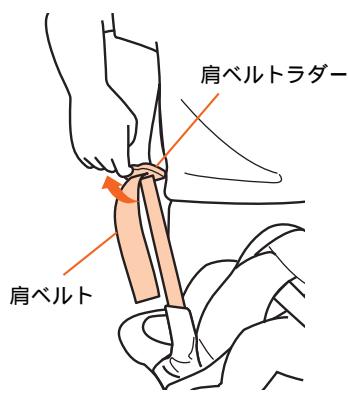
肩ベルトの長さを調節する

短くするとき
片手でお子さまを持ち上げ、お子さまの体重が肩ベルトにかかるないようにしながら、反対の手で、ベルトのあまり部分を肩ベルトの下方向に引きます。



長くするとき
お子さまの頭側の手でお子さまを支え、反対の手(肩ベルトラダー側の手)で、肩ベルトラダーの下部を持ち上げて、肩ベルトと垂直になるように起こして、座部の方向に下げます。

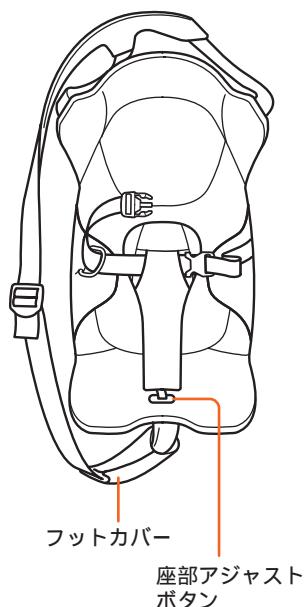
下げにくい場合は、お子さまの体重を少しあげるようにして下げてください。



座部アジャストボタンを調節する

お子さまの身長が約59cmを超えるのを目安に、座部アジャストボタンをはずしてください。

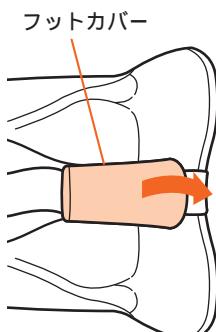
座部アジャストボタンをはずすことにより、座部の角度をお子さまの体型に合わせた自然な角度に保つことができます。



① フットカバーをめくり、座部アジャストボタンをボタン穴に縦に通してはずします。



② フットカバーを元に戻します。



身長が約59cm以下の子さまに使用するときは、必ず座部アジャストボタンをとめてから使用してください。



外出時

- ・右だっこ・左だっこ、どちらでもお使いいただけます。
ここでは、左だっこで説明しています。



左だっこ

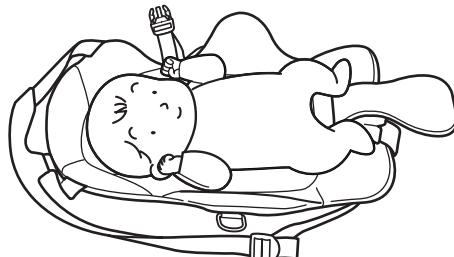


右だっこ

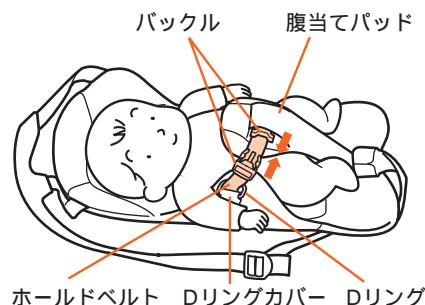
1

お子さまを寝かせ、ホールドベルトのバックルをとめる

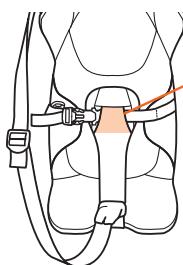
- ①安全な場所に子守帯を置いて頭部ベルトと肩ベルト、腹当てパッドをよけ、シートにお子さまを寝かせます。



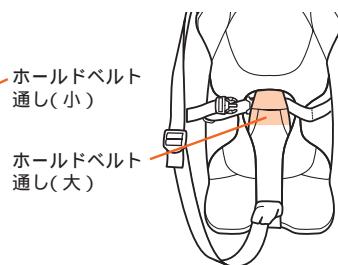
- ②腹当てパッドをお子さまのおなかの上に置き、ホールドベルトを、Dリングの下から通し、ホールドベルト通しの中でバックルをとめます。



- ・お子さまが大きくなり、ホールドベルトがきついときは、ホールドベルト通し(大)にホールドベルトを通してください。

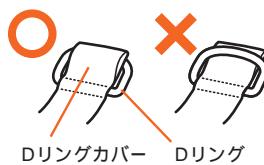


お子さまが小さいとき



お子さまが大きくなったら

- ・Dリングカバーが内側に入ってしまったときは、外側に出てお使いください。



警告
ホールドベルトのバックルは、確実にとめてください。
とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

つづく →

だっこするには

(生後すぐから)

7.0 kg
まで



外出時

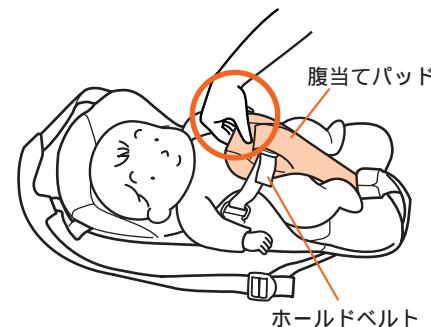
だっこする時は

外出時

2

腹当てパッドの装着を確認する

腹当てパッドとお子さまの間に、大人の指が2~3本に入るすき間があることを確かめます。きつかったり、ゆるかったりするときは、ホールドベルトの長さを調節してください。



3

お子さまをだっこし、肩ベルトを調節する

①肩ベルトを肩から脇へ、斜めにかけます。

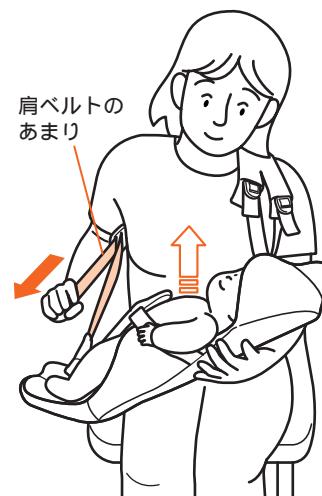


肩ベルトは、必ず肩から脇へ斜めにかけてご使用ください。



②かけてからお子さまの頭部を手で支えながら持ち上げ、上体を起こします。

③いすにすわり、お子さまをしっかり支えて、肩ベルトのあまり部分を引いて長さを調節します。



4

頭部ベルトを調節する

いすにすわり、お子さまをしっかり支え、反対の手で頭部ベルトのあまり部分を引いて長さを調節します。



頭部ベルトの調節方法

お子さまを水平にだっこするとき
内側の頭部ベルトを外側の頭部ベルトより短くして使用します。



お子さまを内向きにだっこするとき
2本の頭部ベルトを同じ長さにして使用します。



頭部ベルトを短くするとき

ベルト先端の輪に指を入れて引きます。



頭部ベルトを長くするとき

頭部ベルトラダーの下部を持ち上げて、ベルトと垂直になるように起こします。



- だっこした後、ホールドベルトがゆるいときは、長さを調節してください。
- 1人でだっこするときは、鏡などに姿を映して、お子さまの頭部が下がっていないかどうか、確認することをおすすめします。



だっこするときは、お子さまの頭部を足よりも高い位置にし、必ず後頭部を手で支えてください。不安定な状態でだっこすると、お子さまの身体に思わず負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



だっこするには

(生後すぐから
9.0 kg
まで)

授乳・寝かしつけ時

母乳で授乳するときは

- 右だっこ(右乳での授乳) 左だっこ(左乳での授乳) どちらでもお使いいただけます。
ここでは、**左だっこ**で説明しています。



左だっこ



右だっこ

1

お子さまをだっこする

お乳をあげる方の胸に、お子さまの頭を向けてだっこします。

外出時のご使用方法1～3(6～7ページ)と同じ手順で操作してください。

2

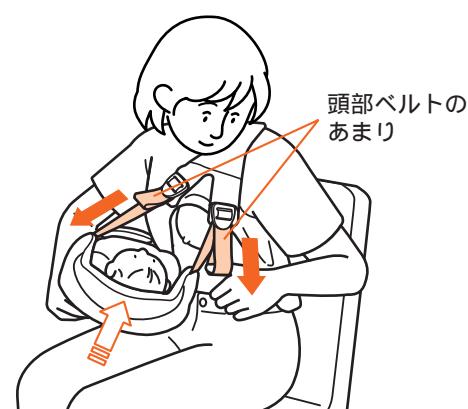
ベルトを調節し、お子さまの口を乳首に近づけて授乳する

①いす、または床などにすわり、使用者の服をあげて乳房を出します。

②肩ベルトを調節して、使用者の乳首にお子さまの口が届くよう高さを調節します。



③もっと近づけたいときは、2本の頭部ベルトのあまり部分を引いて短くし、高さを調節します。



- ④ 乳首をお子さまの口により深く含ませたい場合は、外側の頭部ベルトを内側の頭部ベルトより短く調節してください。

- 授乳中は、肩の力を抜いて、安定した姿勢をとるようにしてください。
- 左右のお乳を替えるときは、1度肩ベルトをはずして、安全な場所にお子さまを子守帯ごとおろし、向きを変えてだっこしてください。



ミルクで授乳・寝かしつけをするときは

1

お子さまをだっこする

外出時のご使用方法1～3(6～7ページ)と同じ手順で操作してください。

2

ベルトを調節し、授乳する

頭部ベルトを最長にして、肩ベルトでちょうどよい位置に調節してください。
お子さまをより内向きにだっこするときは、外側の頭部ベルトを短くしてください。



だっこするときは、お子さまの頭部を足よりも高い位置にし、必ず後頭部を手で支えてください。不安定な状態でだっこすると、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



授乳・寝かしつけ時にお子さまが暴れいやがるときは、使用を中止してください。
お子さまをだっこして寝かしつけるときは、必ず手を添えてゆっくりと揺らし、お子さまから目を離さないでください。



- げっぷをさせるときは、お子さまを安全な場所に寝かせ、子守帯からはずして、普段と同じ方法でげっぷをさせてあげてください。
- 授乳後、子守帯に入れたままお子さまを寝かせるときは、ホールドベルトを少しゆるめてください。

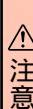


お手入れ

お手入れ

日常のお手入れ

洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いし、形を整えて日陰で平干ししてください。
軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。



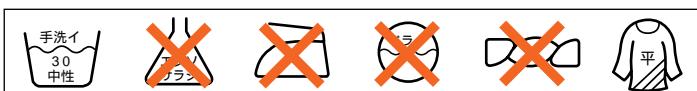
お子さまのよだれなどが生地に付きますと、生地がかたくなる場合がありますのでその際には早めに洗濯してください。
かたくなつた生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

洗濯についてのご注意

色落ちすることがありますので、他のものとは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。パックルなどの破損につながるおそれがあります。

漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は肌あれ・湿疹などの原因となりますので、使用しないでください。天然植物性の「コンビおむつ・肌着洗い」(粉末洗剤、液体洗剤)の使用をおすすめします。

洗濯表示



素材

主部位 製品カラー	外生地	メッシュ地	内生地	ベルト	パックル	背板
スモーキーブルー クラフトベージュ キャラメルイエロー	綿	ポリエステル	ポリエステル	アクリル	ポリアセタール	ポリプロピレン

コンビ株式会社

製品にお気づきの点がございましたら、コンシユーマーブラザ（お客様相談室）までご連絡ください。

コンシユーマーブラザ（お客様相談室）

〒339-0025 埼玉県岩槻市釣上新田271 TEL.(048)797-1000 FAX.(048)798-6109